



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月5日

上場会社名 三菱製鋼株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5632 URL https://www.mitsubishisteel.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐藤基行  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 柳沼康一 (TEL) 03(3536)3135  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	65,922	56.1	2,736	—	2,348	—	2,302	—
2021年3月期第2四半期	42,219	△29.8	△2,393	—	△2,475	—	△2,398	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 218百万円(—%) 2021年3月期第2四半期 △2,175百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	149.71	—
2021年3月期第2四半期	△155.91	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第2四半期連結累計期間に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	134,923	44,933	28.9
2021年3月期	132,320	44,773	29.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 39,018百万円 2021年3月期 38,897百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第2四半期連結累計期間に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	10.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	43.1	4,300	—	3,200	—	1,700	—	110.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 一 、 除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	15,709,968株	2021年3月期	15,709,968株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	353,686株	2021年3月期	325,499株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	15,377,809株	2021年3月期2Q	15,384,555株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、本予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12
3. 補足情報(連結)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2021年4月～2021年9月）における当社グループを取りまく経営環境は、自動車業界において、国内及び海外の需要は回復が進んでいましたが、東南アジアにおける感染再拡大や半導体供給不足の影響により、足元では新車販売減少の影響を受けています。一方、建設機械業界においては、昨年度後半から急回復した需要は、引き続き好調を維持しています。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた前年同期からの反動増により、前年同期比237億3百万円（56.1%）増収の659億2千2百万円となりました。営業利益は、売上げの回復及び生産数量増によるコスト改善と、前期に実施した固定費削減に加え、特殊鋼材事業における昨年の高炉改修に伴う一過性費用の解消等により、前年同期比51億3千万円増益の27億3千6百万円（前年同期は営業損失23億9千3百万円）となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式及び遊休不動産の売却に伴う特別利益の計上を行ったものの、当社グループ会社であるMSSC Ahle GmbHにおける工場火災に伴い特別損失を計上したことから、23億2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失23億9千8百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

特殊鋼材事業につきましては、昨年度後半からの建設機械及び産業機械・工作機械メーカーの需要増に加え、新型コロナウイルスの影響からの回復もあり、売上高は、前年同期比203億8千2百万円（104.9%）増収の398億2千1百万円となりました。営業利益は、国内事業は、売上数量増及び生産数量増によるコスト改善効果や、昨年の高炉改修に伴う一過性費用の解消に加え、価格高騰前の原材料在庫の使用や在庫評価益等の増益要因もありました。一方、インドネシア海外事業では、売上数量増と製造コスト及び固定費削減による増益要因がありました。特殊鋼材事業全体としては、国内外ともに原材料価格上昇の売価反映タイムラグによるマイナス要因があったものの、前年同期比36億3千7百万円増益の28億8千5百万円（前年同期は営業損失7億5千2百万円）となりました。

ばね事業につきましては、自動車向けは世界的な半導体不足による生産減の影響があったものの、新型コロナウイルスの影響からの回復が進み、建設機械向けについても需要増が継続しており、売上高は、前年同期比60億7千3百万円（38.7%）増収の217億6千8百万円となりました。営業利益は、売上数量増による増益要因があった一方で、北米における材料供給問題に対する緊急対応として、日本からの輸出に切替えることで供給継続を図る際に一時的な空輸費用が発生したこと、また海上輸送切り替え後の世界的なコンテナ不足による海上輸送費の高騰等により、前年同期比8億1千3百万円の利益増に留まり、8億9千3百万円の損失（前年同期は営業損失17億6百万円）となりました。

なお、北米の輸送対応について、現在は安価な輸送手段への切替が完了しております。

素形材事業につきましては、新型コロナウイルスの影響からの回復による需要増に加え、特殊合金粉末及び精密鑄造品の新規受注品の売上げも好調に推移したことにより、売上高は、前年同期比10億9千8百万円（28.5%）増収の49億5千7百万円となりました。営業利益は、売上数量増により、前年同期比7億4千万円増益の5億5千3百万円（前年同期は営業損失1億8千7百万円）となりました。

機器装置事業につきましては、受注から売上げを計上するまでの期間が比較的長いいため、前第2四半期の売上げでは新型コロナウイルスの影響は限定的となりました。しかしながら、当第2四半期は、昨年度の商談遅延の影響を受けたことに加え、製鉄機器・海洋機器関連製品の売上減もあり、売上高は、前年同期比8億2千6百万円（18.6%）減収の36億1千4百万円となりました。営業利益は、各種コスト削減に向けた取り組みの効果があったものの、売上高の減少が大きく、前年同期比6千9百万円（31.2%）減益の1億5千3百万円となりました。

その他の事業につきましては、流通及びサービス業等ではありますが、売上高は、前年同期比7億8百万円（55.3%）増収の19億8千9百万円、営業利益は、前年同期比3千6百万円（131.9%）増益の6千4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ26億2百万円増加し、1,349億2千3百万円となりました。これは主に需要回復での販売増に伴う売掛金の増加と生産量増に伴う棚卸資産の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債総額は、前連結会計年度末に比べ24億4千2百万円増加し、899億8千9百万円となりました。これは生産量増に伴う仕入債務の増加と需要回復等による損益改善に伴う未払法人税の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億6千万円増加し、449億3千3百万円となりました。これは主に利益剰余金等が増加したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、営業活動では2億4千8百万円の収入、投資活動では34億6百万円の収入、財務活動では27億7千4百万円の支出となりました。

この結果、現金及び現金同等物は当第2四半期連結累計期間に9億3千6百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は239億1千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、前回(2021年5月14日)公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては本日別途開示いたします「第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,001	17,968
受取手形及び売掛金	25,612	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	28,125
電子記録債権	4,230	4,927
有価証券	4,000	6,000
商品及び製品	9,735	10,051
仕掛品	5,165	6,614
原材料及び貯蔵品	6,540	7,879
その他	2,339	2,245
貸倒引当金	△25	△22
流動資産合計	76,600	83,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,775	8,943
機械装置及び運搬具（純額）	9,559	10,944
土地	13,600	13,897
その他（純額）	6,637	4,716
有形固定資産合計	38,572	38,501
無形固定資産		
その他	1,439	1,168
無形固定資産合計	1,439	1,168
投資その他の資産		
投資有価証券	10,828	6,379
退職給付に係る資産	3,505	3,606
その他	1,374	1,478
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	15,707	11,464
固定資産合計	55,719	51,133
資産合計	132,320	134,923

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,337	14,533
電子記録債務	2,698	4,092
短期借入金	25,666	27,613
未払法人税等	153	1,333
役員株式給付引当金	16	—
火災損失引当金	—	1,728
その他	7,227	5,265
流動負債合計	48,099	54,567
固定負債		
長期借入金	22,927	18,863
役員退職慰労引当金	123	73
役員株式給付引当金	—	0
退職給付に係る負債	10,187	10,322
事業整理損失引当金	256	305
その他	5,953	5,855
固定負債合計	39,447	35,421
負債合計	87,547	89,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,003	10,003
資本剰余金	2,714	2,714
利益剰余金	28,668	30,973
自己株式	△1,271	△1,301
株主資本合計	40,115	42,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,120	841
為替換算調整勘定	△3,686	△3,457
退職給付に係る調整累計額	△651	△756
その他の包括利益累計額合計	△1,217	△3,372
非支配株主持分	5,876	5,915
純資産合計	44,773	44,933
負債純資産合計	132,320	134,923

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	42,219	65,922
売上原価	38,684	56,614
売上総利益	3,534	9,307
販売費及び一般管理費	5,928	6,570
営業利益又は営業損失(△)	△2,393	2,736
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	102	114
持分法による投資利益	—	2
雇用調整助成金	603	45
その他	95	84
営業外収益合計	809	253
営業外費用		
支払利息	611	534
持分法による投資損失	15	—
為替差損	200	3
その他	62	103
営業外費用合計	890	642
経常利益又は経常損失(△)	△2,475	2,348
特別利益		
固定資産売却益	—	947
投資有価証券売却益	—	3,249
受取保険金	304	194
特別利益合計	304	4,391
特別損失		
火災損失	—	35
火災損失引当金繰入額	—	1,728
事業整理損失引当金繰入額	134	72
特別損失合計	134	1,835
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,305	4,903
法人税、住民税及び事業税	104	1,303
法人税等調整額	△149	1,249
法人税等合計	△45	2,553
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,259	2,350
非支配株主に帰属する四半期純利益	138	48
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,398	2,302

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,259	2,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	433	△2,279
為替換算調整勘定	△260	260
退職給付に係る調整額	△88	△112
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	84	△2,131
四半期包括利益	△2,175	218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,253	147
非支配株主に係る四半期包括利益	78	71

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,305	4,903
減価償却費	1,530	1,730
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	158	119
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△74	△101
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	134	72
火災損失引当金の増減額(△は減少)	—	1,728
受取利息及び受取配当金	△109	△120
支払利息	611	534
雇用調整助成金	△603	△45
受取保険金	△304	△194
火災損失	—	35
為替差損益(△は益)	△89	96
持分法による投資損益(△は益)	15	△2
固定資産処分損益(△は益)	3	△907
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,249
売上債権の増減額(△は増加)	6,357	△3,136
棚卸資産の増減額(△は増加)	3,497	△2,909
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,798	3,452
その他	1,196	△1,351
小計	3,219	650
利息及び配当金の受取額	109	120
利息の支払額	△683	△523
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△157	160
雇用調整助成金の受取額	488	45
災害損失の支払額	△18	—
火災損失の支払額	—	△35
特別退職金の支払額	—	△134
その他	—	△35
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,958	248
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△12	△41
定期預金の払戻による収入	24	12
投資有価証券の取得による支出	△4	△0
投資有価証券の売却による収入	—	4,418
有形固定資産の取得による支出	△2,164	△1,020
有形固定資産の売却による収入	2	36
無形固定資産の取得による支出	△341	△8
貸付けによる支出	△21	△16
貸付金の回収による収入	16	15
その他	6	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,493	3,406

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	975	1,593
長期借入金の返済による支出	△3,427	△3,951
自己株式の取得による支出	△0	△29
非支配株主への配当金の支払額	△10	△10
リース債務の返済による支出	△309	△376
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,771	△2,774
現金及び現金同等物に係る換算差額	△215	55
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,522	936
現金及び現金同等物の期首残高	29,281	22,979
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,758	23,916

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、一部の国内連結子会社における工事契約に関して、従来は、工事進捗率を合理的に見積ることができる場合には工事進行基準とし、それ以外の場合には検収基準によっておりましたが、契約毎に履行義務の充足期間を識別し収益を認識する方法に変更しております。また、輸出販売については、従来は、船積時に収益を認識しておりましたが、顧客と合意した地点に製品が到着した時点で履行義務が充足されたと判断し、収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は43百万円減少し、売上原価は37百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は5百万円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置				
売上高								
外部顧客への売上高	17,828	15,661	3,820	4,191	717	42,219	—	42,219
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,610	33	38	249	563	2,495	△2,495	—
計	19,438	15,694	3,858	4,441	1,280	44,714	△2,495	42,219
セグメント利益又は 損失(△)	△752	△1,706	△187	223	27	△2,394	1	△2,393

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。
2. 売上高の調整額は、内部取引の調整額であります。セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置				
売上高								
外部顧客への売上高	35,045	21,755	4,914	3,523	683	65,922	—	65,922
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,776	12	43	90	1,305	6,228	△6,228	—
計	39,821	21,768	4,957	3,614	1,989	72,150	△6,228	65,922
セグメント利益又は 損失(△)	2,885	△893	553	153	64	2,763	△26	2,736

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。
2. 売上高の調整額は、内部取引の調整額であります。セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方針に比べて、当第2四半期連結累計期間の「機器装置」の売上高は43百万円減少、セグメント利益は5百万円減少しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置		
売上高						
日本	30,094	10,488	3,297	2,639	683	47,204
北米	—	7,337	137	—	—	7,475
アジア	4,951	3,113	1,113	64	—	9,242
欧州	—	783	362	818	—	1,964
その他	—	32	3	—	—	36
顧客との契約から生じる収益	35,045	21,755	4,914	3,523	683	65,922
外部顧客への売上高	35,045	21,755	4,914	3,523	683	65,922

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

## 3. 補足情報(連結)

(金額単位=百万円)

## 1. 業績

	四半期累計期間				通期		
	前期	当期	前第2四半期比増減		前期実績	※当期予想	
	2020年4月-2020年9月	2021年4月-2021年9月			2021年3月期	2022年3月期	増減率(%)
				増減率(%)			
売上高	42,219	65,922	23,703	56.1	97,804	140,000	43.1
営業損益	△2,393	2,736	5,130	—	△4,943	4,300	—
経常損益	△2,475	2,348	4,823	—	△5,509	3,200	—
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損益	△2,398	2,302	4,700	—	△5,528	1,700	—

※2021年11月5日公表

1株当たり四半期 (当期)純損益	△155.91	149.71	△359.38	110.55
---------------------	---------	--------	---------	--------

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

## 2. 四半期毎の業績推移

	前期 (2021年3月期)				当期 (2022年3月期)	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
	(4~6月)	(7~9月)	(10~12月)	(1~3月)	(4~6月)	(7~9月)
売上高	21,378	20,840	22,938	32,647	31,786	34,135
営業損益	△1,346	△1,046	△1,890	△659	1,596	1,140
経常損益	△2,132	△342	△2,380	△654	1,380	967
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△1,998	△399	△1,881	△1,249	3,333	△1,030

## 3. セグメント別売上高推移

	前期 (2021年3月期)				当期 (2022年3月期)	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
	(4~6月)	(7~9月)	(10~12月)	(1~3月)	(4~6月)	(7~9月)
特殊鋼鋼材	11,394	8,044	9,607	15,833	18,214	21,606
ばね	6,320	9,374	10,487	12,275	10,827	10,940
素形材	2,151	1,707	2,026	2,531	2,624	2,333
機器装置	2,297	2,144	1,408	3,083	1,968	1,645
その他	647	633	713	840	1,032	956
調整額	△1,433	△1,062	△1,304	△1,917	△2,881	△3,346
合計	21,378	20,840	22,938	32,647	31,786	34,135

## 4. 要約連結貸借対照表

科目	前期	当期	増減	科目	前期	当期	増減
	2021年3月末	2021年9月末			2021年3月末	2021年9月末	
流動資産	76,600	83,789	7,188	負債	87,547	89,989	2,442
現預金等	23,001	23,968	966	営業負債	15,035	18,626	3,590
営業債権	29,842	33,052	3,209	有利子負債	48,593	46,476	△2,117
棚卸資産	21,441	24,545	3,103	その他	23,917	24,886	969
その他	2,314	2,223	△90				
固定資産	55,719	51,133	△4,586	純資産	44,773	44,933	160
有形固定資産	38,572	38,501	△71	株主資本	40,115	42,390	2,275
無形固定資産	1,439	1,168	△271	その他の 包括利益累計額	△1,217	△3,372	△2,154
投資その他資産	15,707	11,464	△4,243	非支配株主持分	5,876	5,915	39
資産合計	132,320	134,923	2,602	負債純資産合計	132,320	134,923	2,602